

たいにいい・ぼっくすつうしん

Vol.116

令和6年
11月13日

宇宙を歩くために、必要なもの。

季節の移ろいは早いもので、先日は第三者委員の方に今年度上半期の事業報告を行いました。子どもたちは運動会や修学旅行など、2学期の大きなイベントを終え、世間は年末に向けた準備を進めています。

先月の通信に引き続き、話題性としてはもうタイムリーではありませんが、4月にマンガ大賞を受賞した「君と宇宙を歩くために」について触れたいと思います。このマンガは、勉強が苦手なバイトでもミスが多く、対人トラブルをきっかけに仕事が続かないヤンキー高校生・小林君と、場面に応じた声のボリューム調整が苦手な、日常のルーティンや自分自身の取り扱い方をノートにびっしりと書き込んでいる宇野君が、友情を育んでいく物語です。小林君は、宇野君が自分の苦手な部分を隠さず、それに対する対策をノートに記録して、宇宙を歩くためのテザー（宇宙飛行士が宇宙空間で活動する際に使う命綱）をつくっている姿に感銘を受け、普通のことかできない部分を補おうとするその姿勢を見習おうとします。作中では発達障がいについて具体的には触れていませんが、小林君にはADHDの特性が、宇野君には自閉スペクトラム症の特性が見られます。この作品が多くの読者に共感と呼ぶ理由は、発達障がいを抱える人の描写の巧みさだけでなく、誰もが日々の生活の中で抱く葛藤や悩みをリアルに描きつつ、それでも前向きになれる姿を描いている点にあるのではないかと思います。

最近、テレビの連続ドラマでも障がい者に焦点をあてた内容が増えています。それだけ、世間の関心も高まり、少しずつですが理解も促進されていると感じます。「君と宇宙を歩くために」は10月に第3巻が発行され、その帯には「自分と関係ないものを“知れば”世界はちょっとだけ優しく見える」と書かれています。まずは「知る」ことから始めるのが大切ですね。宇野君が自分で作るテザーも素晴らしいですが、周りが差し出すテザーが増えれば、宇宙を歩くことがより楽しく、心強いものになるでしょう。

たいにいい
のようす

写真掲載欄のため、内容を削除しております。

茶話会の出欠席について（お願い）

11月22日（金）10時より、茶話会を開催する予定です。今回は初めての平日開催となります。それに伴い、出欠確認をGoogleフォームで行いますので、QRコードまたはURLからアクセスし、質問内容に沿ってご回答をお願いいたします。また、皆さまからの反響を参考に、今後のGoogleフォームの活用方法について検討してまいります。

URL:

12月の予定

クリスマス会等
（冬季長期休暇計画参照）

12月 休業日

1日

7日 8日

14日 15日

21日 22日

28日 29日

30日 31日

